

音楽をみんなで作らしよう こんぺいとう

桜井雄作さん
桜井博子さん
小倉光江さん
秋山 幸さん

今年も11月12日から14日まで、「いきいきかみのかわ祭り」が盛大に開催されました。この祭りのオープニングに、綺麗な演奏と、歌声を聞かせてくれたグループがありました。それが「こんぺいとう」です。

このグループは、桜井博子さんが、阪神淡路大震災を題材にした「なんとか元気やつてます」という歌を聞いた時、友人である秋山さんが、神戸出身であることから、「一緒にやろう」と声をかけたのが始まりです。桜井さんは「この歌を聞いた時、秋山さんが思い浮かんだんです。歌がうまいのはカラオケで知っていたので、私が演奏して2人で合わせたら、きっと楽しいだろうと思っただんです。」と話していました。活動は、身内が集まってホームコンサートを楽しむ形で始まり、半年後、メンバーにキーボード奏者の小倉さんが加わると、演奏の幅も広がりました。2年後、知人から招

今月の輝ける星

待され、南河内町のイベントで、3曲披露したのが外への第一歩でした。その後は、桜井博子さんのご主人で、4種類の楽器を演奏する桜井雄作さんが加わり、町内外のイベント、福祉施設や小学校等でミニコンサートを開くなど、活発に活動してきました。メンバーの皆さんは、「自分たち

も楽しんで、聞いている皆さんも楽しい時間を過ごしてもらえれば嬉しいです。イベント等で依頼があれば、協力させていたいただきますので、ぜひ声をかけてください。」と、楽しそうに話していました。

「こんぺいとう」は、12月11日に中央公民館で、コンサートを開催します。(今月27日

に、「震災を忘れないコンサート」を毎年開催しています。興味のある人は、足を運んでみてはいかがでしょうか。



広報紙で見る上三川町50年

表紙に夜の写真

広報の表紙に使われる写真は、大半が昼間に撮影された写真です。これは、暗くなってからの撮影は、人物写真ならまだいいのですが、お祭りの様子など広い場所を撮影すると、どうしても暗くなり表紙に適さないという理由からです。皆さんも夜景を撮影し、現像した写真をみて、がっかりしたことがあるのではないのでしょうか。

しかし、昭和52年9月号には「盆踊り」様子が掲載されました。この写真を見ると、ぶれもなく遠くにいる人も写っています。この写真を撮影する際には、よく研究していたことでしょう。

この年の大きなできごとの一つに、昭和55年に開催された「栃の葉国体」が、正式に決定したということがありました。この後の広報紙には、地元開催の国体を成功させようと、様々な記事が掲載されていきました

